

北上市総合計画 2021～2030 令和6年度基本施策事後評価シート（評価対象期間:令和5年度）

基本方針	10.まちづくりを支えるしくみづくり
基本施策	10-1.効率的・効率的な行政運営
関連するプロジェクト	10.自治体のスマート化プロジェクト

市民に信頼される行政経営を行うため、市民意見の反映による透明性の確保を図りながら、「スマート自治体」に向けた取組と組織の最適化による効率性と生産性の向上を進めると同時に、選択と集中による適切な投資と財源の中長期的なバランスを確保する財政運営の健全化を推進します。また、安定した財政基盤を確保するため、市税収入等の収納率の向上を図るとともに、公有財産の活用など様々な財源確保策に取り組みます。

評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

総合評価
A

R6事後
21

※達成状況評価欄の（ ）内については昨年度の評価結果です。

No.	担当 部等	プロ ジェ クト	推進方針	成果 指標	達成状況(対象:R5) (上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)	達成状況 評 価	達 成 状 況 分 析 (上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)		今後の方向性 (◇:R6に着手予定・着手済み ◆:R7以降の着手を検討)
							内部要因	外部要因	
1	企画 部	●	自治体D Xの推進	住民の利便性向上のため、情報基本計画に沿って、マイナンバーカードを活用した行政サービス等、デジタル行政サービスの提供を推進する。また、業務生産性向上に資するシステム導入、ICT業務環境の構築、データ利用による政策形成等を図り、スマートワークを実現する。	①②⑥	A (A)	・窓口の繁忙期に合わせたコンビニ交付サービスの利用促進等により、コンビニ交付率は年々上昇している。 ・施設予約システムの導入をはじめ、市民サービスの向上に向けた取組を進めている。	マイナンバーカードの普及が進んだこと、及び各地方自治体によるコンビニ交付サービスの利便性の広報等により、コンビニ交付サービスの社会的認知度が向上してきていると考えられる。	◇継続して窓口改革(書かない窓口等)に取り組む。 ◇継続して行政サービスデジタル化を進める。 ◆業務生産性向上や新しい働き方に対応した業務環境の構築を進める。
				手段としてのデジタル導入ではなく、業務全体の見直しを進めたうえでのデジタル技術の活用というDXの考え方が浸透してきた。			自治体DX推進リーダーとして特定任期付職員を1名採用し、デジタル技術を活用した業務変革を推進している。	働き方や社会のありかたの変化が進み、それと同時にDXの概念が急速に社会全体に広まってきている。	
2	企画 部		効率的な組織運営と適正な人員配置	限られた時間の中で計画的かつ効率的に業務を行うためのICTの活用などスマートワークに向けた取組を強化するほか、行政マネジメントシステムのサイクルの中で組織運営の課題解決を図る。人員配置においては、職場環境ヒアリングや内部監査を実施し、最適な配置の検討を行う。	③	A (A)	類似団体と比較して1割程度下回っており、必要な職種の職員を採用しつつも、効率化が進んだ状態を維持できている。	職員数の規模は維持しているが、人材(特に専門職)の確保は他自治体や民間との競合もあり課題となっている。	◇限られた人員で新たな政策課題に対応していく必要があるため、定型的業務を削減し非定型的業務に職員が専念出来るよう、職員提案を募集し、行政事務改善委員会において検討されたアイデアのうち、一部業務のアウトソーシングの推進について令和5年度に取り組んだ案件が令和6年度に本格実施となることから推移について注視し、引き続き業務量の削減について検討を行っていく。
				・年度当初に部課運営方針を作成し、年2回のマネジメントレビューを行い運営状況の情報共有と改善策の検討を行った。 ・全庁的にスマートワークを推進し、「生産性の向上」と「業務量の抑制」の両面で実施した。 ・職場環境ヒアリングを実施し、人員配置の見直しを行った。			マネジメントレビューの実施を通じて組織マネジメントが徹底された。また、職員が自主的にスマートワークを実践していこうとする意識の醸成が図られ、施策が推進された。	新型コロナウイルス感染症の蔓延により抑制されていた行政活動が再開する等、ウィズコロナ、アフターコロナといった社会情勢への対応が課題となっている。	
3	企画 部		行政評価結果の活用	総合計画を推進するため、評価手法を再検討するとともに評価精度の向上を図る。そのうえで、事務事業及び施策の評価結果を活用した事業スクラップを実施するほか、行政評価と予算編成との連動性を高める。	未設定	B (B)	評価結果が事業計画ローリングに活用しにくいという課題がある。引き続き専門的知見からの助言を得ながら行政評価の精度の向上と次年度予算編成への活用に繋げていく。	新型コロナウイルス感染症の蔓延の影響を受けているのか、事業そのものの有効性に問題があるのか等、適切な評価が難しいという課題がある。	◇令和6年度契約・構築予定の新財務会計システムにおいて行政評価と予算編成との連動性を向上させるため、行政評価サブシステムを導入することとし、仕様等の検討を進めている。
					基本施策及び事務事業の事後評価並びに持続可能なまちづくり推進プロジェクトに係る中間評価を実施した。また、評価結果をローリング及び予算編成に活用した。				
4	企画 部		広聴広報活動の充実	市の主要広報媒体(広報紙、公式ホームページ、Facebook、放送媒体等)で、各媒体間の連携を意識しつつ、適時に分かりやすい行政情報の提供を行うとともに、社会環境に応じた適切な広報媒体を選択し運用していく。 また、市民が市政に意見を寄せる機会や手段について広く周知を図るとともに、ICTの活用等新たな手段を活用した活動を展開していく。	④⑤⑥	B (A)	・SNSや広報紙からホームページの詳細記事へ誘導する形が定着してきている。 ・指標⑥について、市民が市政に意見を寄せる機会や手段については、都度かつ個別に情報発信されており、まとまった情報として周知する機会がなかった。広聴体制については下段のとおり強化したものの、市民に情報が浸透していない。	コロナ関連情報が落ち着きを見せたことから前年からHP年間アクセス数は減少したが、順調に推移している。	◇様々な広報媒体でその特性・メインターゲットに合わせた効果的な情報発信を継続する。 ◇民間のデジタルサイネージを活用した行政情報の発信 ◇市民が市政に意見を寄せる機会や手段について広く周知を図るとともに、引き続き、ICTを活用した広聴活動を展開していく。また、地域住民の関わりが強い市政座談会での市への提言等について、庁内でフォローアップする仕組みを構築し、進捗確認していく。 ◇令和6年4月広報において「市への意見の伝え方を紹介」と題し、市に意見を寄せる手段を約1ページを使用して掲載。来年度以降も年に1回は掲載を行う。
				・令和4年度の約2倍の市民の声が寄せられた ・市政座談会、市民意識調査、タウンミーティング等様々な形態・手法により意見を伺う機会を設けている。			・都市ブランド推進行動計画において「職員全員プロモーターとしての意識改革」を具体的取組に掲げ、各課に対し新規媒体の周知や投稿を促した。 ・子育て世代向けのLINE配信を令和4年7月に開始。LINEの画面上に、ユーザーからの意見聴取ボタンを配置し、気軽に意見を寄せる場を設けた。 ・多様な発信をすることによる相乗効果が図られた。 ・「市民の声」投書箱を本庁舎に設置の1箱から5箱に増設(他2庁舎、生涯学習センター、hoKko)し、箱にオンライン投稿用二次元コードを貼付するなど、意見を寄せる機会や手段を増やした結果、総数として令和4年度の約2倍の市民の声が寄せられた。	民間のポータルサイトが増加し、ニーズにあった情報を効率よく受信しようとする傾向が出てきた。	
5	企画 部		近隣市町との連携	スケールメリットを生かした取組の実施による財政運営の効率化や各市町に共通する課題の解決のために定住自立圏に基づく取組や広域行政の推進を行う。	⑦	A (A)	共生ビジョンに基づき連携事業を推進するとともに、新規連携事業の構築を進めるため、担当者会議を開催して市町間の協議を活性化させた。	地方都市を取り巻く財政状況が依然として厳しい中、地方都市では広域連携による効率的な行政運営が求められている。	◇随時事業担当課で抱える課題等を吸い上げ広域で実施できるか検討を進める。 ◇連携中枢都市圏への発展的移行を目指し、調査研究を進める。
					定住自立圏内の自治体間で連携関係が構築され、各市町が抱える課題などについて情報共有が行われた。		定住自立圏の取組について庁内での認知度が高まっている。		

No.	担当 部等	プロ ジェ クト	推進方針		成果 指標	達成状況 (対象:R5) (上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)	達成状況 評 価	達 成 状 況 分 析 (上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)		今後の方向性 (◇:R6に着手予定・着手済み ◆:R7以降の着手を検討)
								内部要因	外部要因	
6	財務 部		健全な財 政運営	将来を見据えた安定した財政運営を行うため、毎年度、財政状況の分析を行うとともに、社会経済情勢等の動向を注視しながら適正な中期財政見通しを作成する。また、選択と集中による施策の重点化を図るとともに、事務事業の精査や歳出の見直しに取り組み、効果的かつ効率的な事業を展開していく。	⑧	昨年度実績値から0.4ポイント上昇しているものの、期待値を達成しており、健全な状態を維持している。	A (A)	元金償還据置き措置の実施により市債管理基金の残高を確保するとともに、実質公債費比率を抑制した。学校施設の新設等の必要な投資を行っていることから、来年度以降も引き続き実質公債費比率が上昇する見込みである。	令和5年度は、物価高騰における臨時経済対策分として普通交付税の追加交付があった。	◇将来を見据え、優先課題への対応を図りつつ、健全な財政運営を行うため、中長期の財政状況を分析し、財政見通しを作成する。
						財源不足を補うための市債管理基金の取り崩しがなく、実質収支も3億程度の黒字となっている。また、同基金残高が令和5年度に作成した中期財政見通しよりも上振れしている状況となっている。		国庫補助金等の活用、徹底した事務事業の精査や、歳出の見直しにより、市債管理基金の取り崩しもなく、実質収支が黒字となっている。	物価高騰への対応分として、国から地方創生臨時交付金が交付された。	
7	財務 部		歳入の確 保	安定的な収収及び財源を確保するため、適正な課税と市税収納率の向上に取り組むとともに、税外債権を適正に管理していく。また、公有財産(土地)の売却による歳入の増加を図るため、公有財産の売却情報の広報活動を拡充するとともに、宅地建物取引業者の媒介制度を活用していく。	⑨⑩	市税収納率のうち現年度分は期待値を0.57ポイント上回る99.56%となった。滞納繰越分は、期待値を1.5ポイント上回る23.83%となった。	A (B)	市税については、戦略的かつ組織的に滞納整理に取り組み、滞納処分及び徴収緩和の精度並びに効率が向上した。		◇現年度分の徴収に引続き重点的に取り組む。滞納繰越分については適切な徴収強化及び緩和を進める。 ◇高額滞納者の整理を令和6年度上半期の重点施策として取り組む。 ◇適切な債権管理を維持するため、定期的な管理状況の把握を行う。
						・自力執行権のない税外債権の滞納解消を図るため、簡易裁判所へ支払督促の申立てを行い、収納を図った。 ・公有財産の売却収入額は、前年に比べ減少したものの46,436,176円を確保した。		需要に応じて、速やかに売却の手続きを進めた。		
8	財務 部		インフラ 資産マネ ジメント の着実な 推進	建築物最適化計画に基づき、公共施設の複合化・集約化・多機能化を進めるとともに、計画的に修繕や長寿命化を実施していく。また、施設整備に際しては、最も効果的な手法による整備を行うことを基本として、PPP手法の導入を優先的に検討していく。	⑪	公共施設の延床面積は、期待値上では、-5.0%減少を見込んでいたが、実績値では総面積は減っておらず、延床面積の削減が進んでいない。	C (C)	建築物最適化計画における公共施設の適正配置が進んでいない施設や、計画未策定の施設がある。	少子高齢化と人口減少予測に対応して、施設の最適化が必要であるが、新たな施策や地域の要望への対応等により、計画通りに進まない状況である。	◇利用度の低い農村公園及び児童遊園の廃止と、市街地にある児童遊園の都市公園化を進める。 ◇最適化計画上、廃止と位置付けられている施設については、関係者との協議を引続き行う。 ◇建築物最適化計画改定にあたり、第1期計画の実施状況の評価を踏まえ、第2期計画以降の計画に着手する。
						小学校の統廃合が進み、今後、閉校施設の解体が見込まれている。また、柔剣道場の建て替えに際してPPPの手法が取り入れられている。		廃止施設の利活用スキームにより、廃校の利活用を進めた。		
9	財務 部		公共施設 の維持管 理水準の 向上と維 持管理に 係る人件 費の削減	公共施設の維持管理水準の向上とともに、維持管理に係る人件費の削減を図るため、建物管理に係る専門性やノウハウを有する民間事業者に維持管理業務(設備点検・清掃・修繕等)を包括的に委託する包括施設管理を導入する。また、包括施設管理の対象施設について、拡大を検討していく。	未設定		B (B)			◇定期的に職員及び施設管理者に対するヒアリングを実施し、施設管理の更なる品質の向上を図る。 ◇令和3年度からの委託期間が4年目となり、中間評価に着手した。 ◆令和7年度の包括施設管理契約更新に向け、対象施設や委託項目の拡大の検討に着手する。
						令和5年度包括管理施設数28施設、マネジメント件数693件、設備点検数10,858件、除雪92件、修繕157件、合計11,800件。令和5年度修繕費支出総額26,945千円(R4年度23,568千円)であり、修繕費が3,377千円増加。必要な修繕に対応した。		包括施設管理受諾業者の専門的なノウハウと適切なアドバイスを得て、施設全体で管理品質の平準化が図られた。 導入直後は、連携不足による課題が見られたが、毎月施設巡回を行うことにより、要望や小修繕等の対応に改善が図られた。		
10	会計 課		効率的な 組織体制 と適正な 人員配置	窓口業務の縮小や外部委託業務の増加を行いながら、職員の適正配置や組織の見直し等を行い、業務の効率化や生産性の向上を継続して実践する。	⑫	会計伝票審査件数に対する再審査件数の割合は9.32%となり、目標値(8.30%)に達しなかった。	B (A)	財務事務の取扱いの変更による再審査が増加した。		◇令和5年度から外部委託の形態を派遣から業務委託へ変更。委託内容を拡充し、伝票審査に加えて窓口業務等定型的業務を委託している。
						会計課所属職員の時間外勤務時間は前年度より約13.5%増加した。		財務伝票審査業務の一部を外部委託により実施し、職員の伝票審査件数は前年度より23.7%減少したが、法改正に伴う事務など非定型的業務が増加した。		
11	議会 事務局		市民に対 する情報 発信力の 向上	市議会広報委員会・広聴委員会により、議会広報紙や公式ホームページの広報活動の研究、議会モニター制度等市民の意見の聴取を生かしたわかりやすい情報発信を行う。市民に関心を持ってもらえるような情報発信となるよう議会広報の編集や多様な媒体を活用した情報提供等に対する積極的な助言等、広報・広聴の機能強化をけん引する。	未設定		B (B)			◇より良い議会だよりとするため、令和6年8月号から表紙のデザイン等を刷新。 ◇若者世代への情報発信を強化するため、令和6年9月からSNSでの情報発信の試行を開始予定。 ◆北上市議会のYouTubeチャンネルにおいて録画配信が削除される事案があり、今後も同様の事案が生じるとアカウント自体が閉鎖され、配信できなくなるおそれがある。このため、議会中継・録画配信を安定的、継続的に行うことができるシステムを広報委員会で検討中。
						・議会広報を年4回、合計156,813部発行した。また、Web版(HP、マイロ)での発信を開始した。 ・議会モニター会議を年3回開催し、寄せられた意見を議会活動に活かしている。 ・議会YouTube配信を実施。録画配信のほか、ライブ配信も令和5年3月から開始した。		・広報委員会を17回開催し、より良い広報紙の作成に努めている。 ・広聴委員会を11回開催し、広聴活動の在り方について議論を重ねている。 ・令和5年度のYouTube配信実績は、動画本数83本、チャンネル登録者140人増、総視聴数2.6万回総視聴時間3,912時間 ・委嘱した議会モニター21人から、議会活動全般に対する意見が寄せられ、報告書としてまとめたうえで、議会活動に反映させている。	議会モニターから若者に届く情報発信の必要性について意見されている。	

凡例 ●実績値 - - - 期待値

指 標 ①		指標の説明							指 標 ②		指標の説明							指 標 ③		指標の説明									
マイナンバーカードを活用したサービス数		マイナンバーカードを活用した市の行政サービスの数(年度末時点でのサービス数。確定申告等国が整備したサービスは対象外。)							ICTの利活用により、新たに開始したサービス数		ICTを活用し、開始したサービス数(累積)							住民千人当たり職員数(普通会計)		地方公共団体定員管理調査に回答する4月1日現在の職員数									
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
企画部		実績値	0	1	1	2	2			企画部		実績値			11	24	41			企画部	人	実績値	6.67	6.65	6.67	6.73	6.64		
		期待値 ※R7は目標値	0	1	1	2	2	3	3			期待値 ※R7は目標値	-	-	11	17	23	29	35			期待値 ※R7は目標値	6.67	6.67	6.67	6.67	6.67	6.67	6.67
		備 考										備 考											備 考						
指 標 ④		指標の説明							指 標 ⑤		指標の説明							指 標 ⑥		指標の説明									
広報紙・ホームページなどの情報発信の内容のわかりやすさ(市民意識調査)		市民意識調査の設問「北上市の情報発信の方法や内容はわかりやすいと思いますか」に対し、「そう思う」「ややそう思う」と回答した市民の割合							ホームページへのアクセス件数		北上市公式ホームページの年間アクセス数(セッション数)							市政に対して意見・要望できる機会や方法の確保(市民意識)		市民意識調査の設問「市政に対して意見・要望できる機会や方法が確保されていると思いますか」に対し、「そう思う」「ややそう思う」と回答した市民の割合									
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
企画部	%	実績値	72.2	76.3	76.3	64.9	43.4			企画部	件	実績値	1,060,660	1,510,244	2,335,009	1,848,474	1,663,428			企画部	%	実績値	34.70	39.90		43.70	25.30		
		期待値 ※R7は目標値	72.2	72.8	73.5	74.1	74.7	75.4	76			期待値 ※R7は目標値	1,060,660	1,123,217	1,185,773	1,248,330	1,310,887	1,373,443	1,436,000			期待値 ※R7は目標値	34.70	37.25	39.80	42.35	44.90	47.45	50.00
		備 考					「普通」回答含む	「普通」選択肢無					備 考										備 考			未実施	「普通」回答含む	「普通」選択肢無	
指 標 ⑦		指標の説明							指 標 ⑧		指標の説明							指 標 ⑨		指標の説明									
定住自立圏で新たに取組む連携事業数(H26からの累計)		R1以降定住自立圏における新規事業の累計値							実質公債費比率		地方公共団体の借入金(地方債)の返済額(公債費)のその地方公共団体の財政規模に対する割合。							一般市税収納率(現年度分)*国民健康保険税を除く		調定額に対する収入済額の割合。									
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
企画部	件	実績値	11	13	18	22	23			財務部	%	実績値	11.00	7.9	7.0	6.7	7.1			財務部	%	実績値	98.97	98.80	99.31	99.54	99.56		
		期待値 ※R7は目標値	11	12	13	14	14	15	16			期待値 ※R7は目標値	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00			期待値 ※R7は目標値	98.97	98.98	98.98	98.99	98.99	99.00	99.00
		備 考										備 考											備 考						
指 標 ⑩		指標の説明							指 標 ⑪		指標の説明							指 標 ⑫		指標の説明									
一般市税収納率(滞納繰越分)*国民健康保険税を除く		調定額に対する収入済額の割合。							公共施設の延床面積(建築物最適化計画)		市が所有する建物の延床面積の総量(企業会計含む)。							再審査率の減少		会計伝票審査件数に対する再審査件数の割合									
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
財務部	%	実績値	20.86	19.76	22.05	19.35	23.83			財務部	㎡	実績値	433,017	431,052	432,219	435,693	430,751			会計課	%	実績値			8.52	8.34	9.32		
		期待値 ※R7は目標値	20.86	21.23	21.60	21.97	22.33	22.70	23.07			期待値 ※R7は目標値	433,017	426,999	420,981	414,964	408,946	402,928	396,910			期待値 ※R7は目標値	-	-	8.52	8.41	8.30	8.19	8.08
		備 考							過去10年間の最高値			備 考											備 考						
指 標 ⑬		指標の説明							指 標 ⑭		指標の説明							指 標 ⑮		指標の説明									
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		実績値										実績値										実績値							
		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値							
		備 考										備 考										備 考							